



ふなばし 国際交流協会ニュース

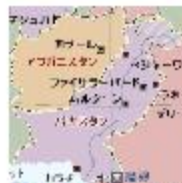
<第33号>

2006年8月●日発行



姉妹都市、オーデンセ市フォークダンスチームの公演(関連記事は3ページ)

目で見る世界の国 第9回 パキスタン・イスラム共和国



パキスタンの位置



モヘンジョダロの遺跡



K2峰



カラコルムハイウェイ



国旗

ひとこと紹介

本中山 岩瀬 初枝

パキスタンは南西にイラン、西北にアフガニスタン、北東に中国、東はインドと接し、インダス河は古くから流域の人々の生活を潤して南の海に注ぐ。

インダス文明の遺跡として名高い世界遺産、モヘンジョダロをはじめ、ハラッパーなどの遺跡が各地に点在する。しかし、未発掘のまま放置されていたり、風化が進み崩れかけた所や、塩が吹き出し保存が危ぶまれるものもある。保護の難しさ、大切さを感じる。

北部はヒマラヤやカラコルム山脈などが連なり、世界第二峰K2の雄姿もそびえる。中国との国境クンジュラフ峠(4,733m)を通るカラコルムハイウェイは多くの犠牲を払って、1986年開通。南側に山が迫り、落石による補修工事の道を、飾り立てたトラックがすれ違う。それでも、経済を支える交通の要衝なのである。

ミニ情報

国名:	パキスタン・イスラム共和国
面積:	79.6万km ² (日本の約2倍)
人口:	1億5,250万(2005年)
首都:	イスラマバード
公用語:	ウルドゥ語(国語)
宗教:	イスラム教(国教)
通貨:	パキスタン・ルピー 1米ドル=58.89ルピー (2006年3月)

総会を終えて



平成 18 年度の総会は 5 月 23 日、三井ガーデンホテルで開催され、無事終了いたしました。これも会員の皆様の日頃のご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨年度は H. C. アンデルセンの生誕 200 年にちなみ、当協会でも市民訪問団を組成してオーデンセ市を訪れ、現地の方々との交流を深めました。

会長 井上登喜弥

今年は 7 月にオーデンセ市からフォークダンスチームが来船し、9 月には姉妹都市提携 20 周年を記念してヘイワード市から大勢のお客様をお迎えしての行事を予定しております。

協会の活動も多彩になり、「国際交流のつどい」のように多くの市民や外国人の参加する大規模な行事や、講演会、広報のような地道な活動、日本語教室・外国人相談窓口などの外国人支援活動も続けてまいりました。外国人に対する災害対策への取り組みも始めております。

今後も楽しく爽やかな交流活動を行えるよう努力する所存でございます。会員の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、副会長としてご尽力いただいた山田和勇さん、小林勇さんは退任され、新たに地引久雄さん、中川喜矩さん、今井敏雄さんが副会長に就任されました。

防災訓練に参加して

4 月 30 日、文化交流グループ活動の『外国人のための防災訓練』に参加しました。応急手当、地震体験等とても勉強になりました。自分の国ではこのような訓練をした事がなかったのが最初はなかなかうまくできませんでしたが、消防士の方が親切に教えてくださいました。訓練だからあまり



インドネシア出身 高橋レンド

緊張は、しませんでした。実際の時はどうなるのかと考えると不安になりました。

2004 年 12 月に北スマトラで起きた大地震と津波の時、もし私がその場にいたらきっと被害を受けた人々に今回の訓練が少しでも役立つことでしょう。

留学体験記

私は船橋の交換留学生として 9 ヶ月間、カリフォルニア州立大学イーストベイ校に通った。授業は専攻しているアメリカの移民史を中心に履修した。南アメリカからの移民についての授業では、クラスメイトのご主人にお会いし、彼と彼の両親がなぜ母国エルサルバドルを離れアメリカに渡ったのか、彼が幼少期に経験した内戦はどのようなものであったのか、移民である彼が今日の移民政策についてどう考えているかなどを聞く機会があった。これは日本で決して得ることの出来ない貴重な経験であった。

また、ボランティアとして日本語クラスでアシスタント、及び日本語の家庭教師をした。日本語を外国語として学ぶ過程を見るのはとても新鮮だっただけでなく、日本語を勉強する生徒たちとの交流はヘイワードにおける留学生生活をより楽しく豊かなものにしてくれた。彼らとの話の中でわかったのは、アメリカにおける日本のアニメ、ドラマ、漫画の影響力が想像以上に大きいということである。これらの作品を通

第 15 期留学生

ひろか
庄司洋加



じて日本に興味を持ち、日本語の勉強を始めた生徒がクラスの大半を占めていたことには驚かされた。

最後になったが、いつでも親身になって相談に乗ってくださった

鶴本夫妻をはじめとする姉妹都市委員の皆さん、船橋市国際交流協会の皆さん、私を娘のように可愛がってくださったホストマザーのアニータさん、理解ある両親、そして留学中私を支えてくださった人々から感謝している。ヘイワードでの経験すべてがこれからも常に私を励まし、力づけてくれるであろう。

第16期 カリフォルニア州立大学イーストベイ校 派遣留学生の紹介

金杉 瀬沼 雄太

留学を前にドキドキワクワクしています。

将来は国際的な仕事に就きたいと考えているので、コミュニケーション論を学んだり多くの人と交流することで、留学という貴重な経験をいっぱい生かしていきたいと思います。

本町 荻原 優美

文化交流活動を通して、日本の文化や良さを伝えるとともにアメリカの文化を学べる相互性に魅力を感じます。

さまざまな国籍の人たちと生活をともにすることによって視野を広げたいと思っています。

三山 長田美有紀

大学内に限らず大学外でも、日本文化を知ってもらう機会を作ることや、日本語を教えるボランティア活動をするともに、自らアメリカ文化を学びたいと思っています。そしてヘイワード市と船橋市の交流をより深めていけるように努力したいと思います。

西習志野 須藤 淳

英語を使って勉強をしたい、そして将来への土台を築きたい。

武士道を英語で語れるような教養ある英語力に高めたいと思います。

目標は一つ。世界を眺める日本人、日本を語れる国際人になる！

フォークダンスで交流—公演とホームステイ



さざんかの家：笹飾りの前で



ふなばしアンデルセン公園でのダンスショー



舞妓の太鼓を奉納演奏



ほか園を踊るデンマークの人たち



贈られたデンマーク衣装と日本の浴衣



さざんかパーティでフォークダンスを踊る

ホームステイを引き受けて

前原西大嶋 京
オーデンセ市フォークダンスチームとの交流は、7月6日、アンデルセン公園で対面した時から始まりました。

その後、我が家では日本式の風呂を楽しんでもらいました。

7日は八木が谷小学校との交流。夕方から、協会の心尽くしの七夕パーティがさざんかの家（300年前の民家）で開かれました。

8日はららぽーとのダンスショー。夕食は回転寿司を楽しんだあと、他のホストファミリーと我が家

で歓談。孫たちはあやとり・折り紙で小さな国際交流を展開しました。

9日はアンデルセン公園でのメインステージ。アンデルセンの生涯をミュージカル仕立てで上演しました。速くデンマークからたくさんのステージ衣装を運び『船橋の人々のために』という熱い思いが伝わってきました。その夜、協会主催の『さよならパーティ』では両市民がフォークダンスを楽しみました。

はじめの不安も忘れて、楽しい5日間に感謝、マンガ・タック。



前列中央が筆者

ズームアップ

船橋市日中友好協会会長 堀江 はつ さん

隣国である中国との国交回復を願う日中友好協会が設立され、それに伴い各県・市町村毎に日中友好協会の支部が設立された。船橋市も1970年設立準備会が持たれ、1975年日中友好協会船橋支部（現在は改称して船橋市日中友好協会）が結成された。

初代会長は現在の船橋市自治連合会会長の清水光明さんである。

協会設立後は船橋市日中文化交流の留学生との交流や中国義父母に感謝するカンパ活動、弁論大会、西安市への短期留学生の派遣、西安市「千葉の森」植林事業などを行ってきた。

色々な活動の中でも1991年6月29日から7月6日まで西安市対外人民友好協会の招請で西安市を訪問したことが、西安市と船橋市の友好都市締結のきっかけとなったのである。それは船橋市が西安市と友好都市であると聞いていたが、既に奈良、京都との友好都市を締結していることで3市は政府が認めないとのことから船橋市は「友好交流促進都市」であったことを知る。以降、友好都市を結ぶための努力をしてきたが、1994年5月奈良市において日本中国友好都市会議が開かれ、私は県の代表で出席し船橋市と西安市の交流状況を報告



西安で植林する堀江はつさん



西安市への緑化協力訪中

船橋市日中友好協会の現会長、堀江はつさんに西安市にある「千葉の森」植林事業の10年間に及ぶ活動を振り返ってもらいました。

し、是非3市目の友好都市締結をと訴えた。そして会議終了後奈良市の会議から5名の中国代表団を船橋に迎え交流を図ったが、その時の代表団である中日友好協会副会長の呉瑞琴先生、中日友好協会国際部長であった王秀雲先生と当時西安市対外人民友好協会公室長であった李雪梅先生が、船橋の活気ある町を見て「私が友好都市締結を約束します。」との言葉を頂き半信半疑であったが、帰

国後6月に「友好都市締結」のファックスが入り、その年の11月に友好都市締結ができたことをうれしく思う。

また、千葉県日中友好協会と共に、中国の砂漠化防止のための1円募金に取り組み、どこかの地に緑の森を植定された場所が西安市であった。1円募金から1口1,000円募金へとその輪は広がり取り組みから10年、今年の4月100haの植林を完成することができた。第1回の植林で植えたメタセコイヤはしっかりと大地に根付き、その後植林したモクセイやポプラも立派に育っている。これからの日中友好の強い絆が大地に根付き育つことを願って

お知らせ

問合せは 事務局 TEL047-436-2083 FAX047-436-2089へ

ハイワードからの市民訪問団のホストファミリー募集

姉妹都市提携20周年を記念して、ハイワードのデニソン高校とシャボウカレッジの市民音楽グループがハイワード市姉妹都市委員会の皆さんと来船します。

今回も、船橋滞在中は、ホームステイ。国際交流のついでや学校交流のほか、ホストファミリーとのフリースタイルもプログラムされています。

この機会に、ホストファミリーで草の根国際交流を実践しましょう。

期間：9月29日(金)～10月3日(火) 4泊5日

条件：期間中の送迎が可能なこと

家族とは別に1室を提供できること

食事の提供ができること

船橋市国際交流協会主催の日本語学習支援者養成講座

市内の公民館などで外国人に日本語を教えるボランティアを養成します。

日時：9月28日～12月21日までの毎週木曜日

午前10時～12時(全12回)

会場：市役所内会議室ほか

対象：日本語教授法を学んだことがなく、修了後にボランティアとして日本語教室で活動できる方。

定員：35名(応募者多数の場合は選考)

費用：7,625円(テキスト代ほか)

申込方法：はがき又はFAXで「申込書請求」、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、8月31日(必着)までに273-8501 船橋市湊町2-10-25 国際交流室内 船橋市国際交流協会へ。折り返し、申込要項を郵送します。(電話での申し込みは不可。)

あとがき

デンマークという国について、知識が何もなかったけれど船橋に住んで、身近に感じるようになった。マルグレーテ2世女王のご夫君ヘンリック王配殿下は気さくな人柄で、宮殿の外から声をかけられると、窓に身を乗り出されて気軽に「ハイ！」と手をふってください。

デンマーク人は、カールスバーグのビールが大好きで大人の世界では、アンデルセンより話が盛り上がる。イギリスのギネス、デンマークのカールスバーグと欧州では、名が通っている。一度試されては、いかがでしょう。(S.F)